

新潟県リコーダー教育研究会 会報 H24-3号
平成25年 2月2日(土) 発行



さえずり

新潟県リコーダー教育研究会 会長 小池 純夫
(南魚沼市立大崎小学校 教頭)

リコーダーの魅力で授業をつくる

副会長 嶋見 靖之



中学校1年生のアルトリコーダーの授業でこだわっていることが3つある。一つ目は、全員の楽器に名札シールを私が貼ることである。楽器の状態を確かめるのが目的だが、一つ一つに名札を貼ってあげることで楽器をていねいに扱う気持ちを伝えたい。楽器に愛着があれば良い音を出したくなるだろう。

二つ目は、第1時間目。題材の教材曲は「ブンブンブン」、「かえるの歌」、そしてジブリアニメ「ゲド戦記」の主題歌「テレーの歌」の3曲。これらを私が気持ちを込めて演奏する。どんなにざわついていても必ず聴いてくれると信じて演奏する。ありがたいことに、最後の曲あたりになると演奏している私を見つめる生徒がほとんどになる。演奏が終わるとどこからか拍手がわく。魅力を感じた瞬間なのだろう。その次に、リコーダーという言葉の起源である「リコルド」のことに触れ、鳥の鳴き声のような優しい音色をつくること、そのためには温かな息を使うことを教える。リコーダーの魅力は「音色」にあると位置付けることで、生徒の苦手意識は少しは遠のくのではないかな。

三つ目は教材曲選択。決して運指の難しい曲は選ばないようにしている。一音一音に十分息が入る曲を選び、音色を味わわせ、タンギングシラブルとアーティキュレーションが工夫できる場面を設定し、最後はできた自信をもたせる。限られた時間ゆえ、ねらいを焦点化して授業をつくっている。

基礎・基本の定着と思考・判断・表現力の育成、その基盤となる学ぶ意欲の醸成。どれも大事だが全部を均等に扱うのには無理がある。教育全般の潮流に任せるだけでなく、教科の本来的価値に根ざした授業を大事にしたい。音楽教育では、音楽の楽しさを味わわせることではないか。では、楽しさの元はどこにあるのか。リコーダーは音楽表現のツールにとどまらない。リコーダーそのものがもつ魅力、すなわち「音色」が学びの対象である。



「音を合わせる」ためにはまず「息を合わせる」ことから

合奏指導の手順・ポイント・注意事項 ①

リコーダー奏者・東京リコーダーオーケストラ指揮 金子健治



近年、世界中でリコーダー大合奏が盛んになり、楽器・楽譜が充実し、あらゆるジャンルのレパートリーが、様々な編成で演奏されるようになりました。基本的な奏法に関しては、どのような編成においても変わりはありませんが、ここでは合奏での注意点を取り上げました。

真っ先に注意点として「音を合わせる」ことが頭に浮かびますが、ご存知のようにリコーダーは息の圧力でピッチが大幅に変化する楽器です。簡単に音が出せるために理想的な息の流れ・圧力を実感できぬまま、音合わせや曲作りに走りがちです。しかし安定した息が得られなければ、チューニングもその場限りのものになってしまい、全く意味が無くなります。下記のような手順で「音を合わせる」前の下準備をしましょう。

- 1 パートに関係なく同じ指使いでロングトーンを試みましょう。例えば0 1 2(ラまたはレ)で。この時点ではまだ音程を合わせることも、息を安定させることが第一目標です。息が一定に流れるようになると、音の唸りも一定になってきます。
- 2 ロングトーンした音をスラー(タンギングをしないで)で上下に動かしてみましょう。勿論、音の上下に関係なく息を安定させることが大切です。一言で「音が合っていない」と言っても、音が「交差」する場合と「平行」に動く場合とでは唸(うな)りが明らかに違います。全員で同じフレーズを「平行」して動いていることを確認しましょう。この「平行」した唸りを常に感じることが、後に唸りを聴き分けながら「音を合わせる」ことへと繋がっていきます。
- 3 ここまでを何回か繰り返していると唸りが一定になってくるのが実感できます。ピッチはまだ合わせてはいませんが、音が合ったり合わなかったりという不安定な状況からは脱することができると思います。ここで初めて最初の音(0 1 2)のピッチを確認し、息圧・チューニング管を調整します。

単調な練習になりがちですが、上記2の部分でよく知られたシンプルなフレーズを取り入れるなどして、年齢に応じた基礎練習方法を編み出してください。

また機会がありましたら、実際の「音合わせのための練習方法」「大合奏のアーティキュレーション」「豊かな響きを作る」等に触れたいと思います。

■ 編集 ■

10月13日(土)、第2回 例会。金子健治先生をお迎えして実技講習会を開催いたしました。「合奏のまとめ方〜クラブやクラスで楽しむための」をテーマに楽しい一時を過ごしました。この度、わがままをお願いして、金子先生から原稿を頂戴いたしました。お忙しい中、原稿を執筆してくださいまして、ありがとうございます。心から感謝申し上げます。

続編も期待させていただいても宜しいですか?(^_^)



先輩の皆さんの横顔

<宮越 洋一郎 先生>

平成11年春、退職と同時にリコ研会長も卒業。その後は、一会員として気楽に、楽しく諸行事の末席に加えて頂いて、もう14年になります。また、退職の夏からは、小原先生の紹介で「新潟少年院」の篤志面接委員となり、音楽クラブの指導や全体の歌唱指導などに当たっています。

音楽クラブは、リコーダー合奏を中心に行っているため、リコ研の研修は私にとって、格好の勉強の機会となっています。アンサンブルの指導法や楽曲の選定など、有効なヒント・情報が得られて有り難く思っています。

例会や夏季研修などでアンサンブルに参加できるのも楽しみです。私の演奏技能は初級のままで、ついていくのに精一杯ですが、会員の皆さんの素晴らしいハーモニーのお風呂にどっぷりとつかっている気分は最高です。そして、そういう夏季研修やコンテストの合奏のビデオを少年たちに観てもらおうと、リコーダーへの関心が高まったり、練習に熱が入ってくるのが分かります。講師の先生方やリコ研の皆さんのお陰だと感謝しています。

近況報告としては、1月29日、夕方のBSNテレビで、音楽クラブの活動が放映されました。田宮病院へ年3回行っている交歓コンサートの内の「Xマスコンサート」への取組みと当日の様子を中心に、少年の更生について考える報道でした。これからも、音楽の力と少年たちの回復力を信じて微力を尽くしていきたいと思っています。

<皆川 昌雄 先生>

Q1 近況をお知らせ下さい。

A1 娘が結婚した。式場の教会で娘の手をとってバージンロード（なかなか長い！）を歩く。「感慨深そうな表情でしたよ。何を思っていたのですか」と聞かれたが、『天井が高く、良く響きそう。ここでリコーダーを吹いたらキモチいいだろうな』などとアラヌコトを考えていたとは、とても言えなかった。

Q2 最近ハマっていることはありますか？

A2 ハマっていることというか・・・、昨年度は「リコーダーフェスティバル in 小出」、今年度は「長岡リコーダーフェスティバル」と、ヒョンなことから2年続けてリコーダーフェスティバルの実行委員長をやらせていただいた。幸いどちらも成功裏に終わり、支えてくださった方々に感謝するばかりである。

Q3 リコーダーを吹かれていますか？

A3 現職のころに比べ、退職後の現在のほうが、リコーダーを手にもすることも、ステージ演奏の機会もはるかに多くなった。高齢にはなってきたが、まだまだ吹いて楽しみたいと思っている。キングのバスリコーダーを購入した。豊かな響きで気に入っている。いろんなリコーダーを無断で購入してもいつも見て見ぬふりをしてくる（？）妻に、感謝するこの頃である。



第38回 新潟県リコーダーコンテスト金賞受賞団体

及び全日本リコーダーコンテストへの推薦団体

- 月 日 平成24年12月1日(土)
- 会 場 長岡市・中之島文化センター
- 主 催 新潟県リコーダー教育研究会
- 後 援 新潟県教育委員会 全日本リコーダー教育研究会 東京リコーダー教育研究会

<小学生の部>

○四重奏

- ・ ノスタルジック エア アンド ジグ …… 魚沼・堀之内小
- ・ バラの香り～リコーダー四重奏のための5つの花曲～ …… 十日町・馬場小

○合 奏

- ・ ウォーター イズ ワイド …… 魚沼・堀之内小
- ・ 飛鳥の里へ …… 十日町・馬場小

<中学生の部>

○三重奏

- ・ アフリカン組曲 第2番 …… 魚沼・堀之内中

○四重奏

- ・ 「七つの笛の踊り」より …… 佐渡・羽茂中
- ・ スウィング イン ザ パーク …… 新発田・紫雲寺中

○五重奏以上

- ・ 「組曲」より II V VI …… 佐渡・羽茂中

○合 奏

- ・ 「七つのタブロー」より I II IV …… 佐渡・羽茂中
- ・ ミラーボール …… 新発田・紫雲寺中

<一般の部>

○独 奏

- ・ ソナタ第1番 ニ短調より …… 三条・Okaya. O. T

○合 奏

- ・ アフリカン組曲第2番 …… 十日町・十日町リコーダーアンサンブル

<銀賞の中からの全日本大会推薦団体>

○小学校合奏

- ・ アイリッシュ エア アンド ダンス …… 十日町・貝野小

○中学校合奏

- ・ レンツブルグ組曲 …… 佐渡・南中

○一般合奏

- ・ 「新選舞曲集(1609)」より …… 長岡・プルニエアンサンブル

第3回 新潟クラシックストリートに、

新潟県リコーダー教育研究会有志が合奏で参加します。

ラ・フォールジュールネ新潟「熱狂の日」2013 関連イベント「第3回 新潟クラシックストリート」に、新潟県リコーダー教育研究会、有志10人で参加します。

ラ・フォールジュールネ新潟、今年のテーマは、モーツァルトです。昨年秋、オータムコンサート(毎年9月23日、リックHにて開催)でモーツァルトの弦楽5重奏曲 第2番 kv406 の第1楽章を演奏しました。元々の原曲は、kv388 の管楽8重奏曲です。魅力的な曲調です。オータムのメンバーからは、曲を気に入ってもらい、練習も順調に進み、本番もまあまあの出来だったと思います。

それを聴いてくださった方が推薦してくださり、今回のクラシックストリートへ参加する方向で考えました。しかし、オータムのメンバーは、都合が付かない方がいました。そこで、小池会長他の会員、そして、会員以外の方にも声を掛け、参加の意思表示をいただき、ようやく10人が集まりました。

30分のステージですが、話も入れてなので、実質演奏時間は、20数分です。そこで、2・3・4楽章も演奏することにしました。4楽章に大変難しいフレーズが、テナー1とバスパートにあります。今まで何回か練習を終えました。皆さん頑張ってください、回を重ねるごとに、モーツァルトらしさが聞こえ、順調に仕上がっていると安心しています。

さて、新潟市での演奏は、「新潟クラシックストリート」に参加。5月5日(日)14:00~14:30。会場は、新潟市、音楽文化会館ホール(一番堀通町3 音楽文化会館3F)です。

長岡市での演奏は、「長岡・音・おと・オトの街 公演(昨年の名称です。今年もこの通りかどうか不明)」に参加。5月6日(月) 午後からです。詳細は、不明です。

今後の詳しい情報は、問い合わせいただいたり、インターネット等で調べていただいたりしてください。

※ ラ・フォールジュールネ新潟「熱狂の日」2013。今年のテーマは、フランス音楽です。しかし、新潟市だけが、モーツァルトにしました。

<<編集後記:樋熊>>

今回は、前半を2月2日(土)に発行しました。後半の付け加えをしたために、HPへのアップが大変遅れてしまいました。お詫び申し上げます。m(_ _)m